

第 5 回 退院支援・医療介護連携部会報告書

日 時	令和元年 8 月 22 日 (木) 19:00～20:15		
場 所	高松市医師会館 2 階大会議室		
出席者	■ 吉澤委員長 ■ 松本部長 ■ 岡委員 ■ 片山委員 ■ 林委員 ■ 香西委員 ■ 田中委員 ■ 辻委員 ■ 永岡委員 ■ 坂東委員 ■ 古川委員 ■ 三宅委員 ■ 和田委員	13名	
事務局	高松市医師会 伊藤副会長、真鍋氏 地域包括支援センター 坂上副センター長 長寿福祉課 徳重主幹、久保補佐、長樂係長、山崎	7名	
議 題	1 第 1 回 医療介護連携ミーティングの開催結果について 2 第 2 回 医療介護連携ミーティングの開催について 3 高松市入退院支援ルール (案) について		
結 果	<p>1 第 1 回 医療介護連携ミーティングの開催結果について</p> <p>(1) 参加状況、アンケート結果、グループワークのまとめについて</p> <p>○アンケート結果：情報共有シートの項目が多いのが心配といった意見が多かった。</p> <p>○ミーティングに参加しての意見・感想など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有シートの量が多いことが気になった。他職種の意見を聞くことで、視野が広がり非常に勉強になった。 ・参加者は積極的に在宅に関わっていて、リーダーシップの取れる人を選んだ。グループ毎に薬剤師が入れるようにしていただけると、その人数を会として集めたい。薬剤師はうまく関わっていないというジレンマを感じている人も多いため、他職種からの意見を聞いて大変参考になった。 <p>質問 ケアマネジャーはこのシートを作成することは負担になるのか？</p> <p>回答 負担感ケアマネジャーの質によると思う。ケアプランにアセスメントで反映できるような情報であれば、必要だと感じて情報を把握しようと思うので、負担には感じないと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師の参加者は少なかった。声はかけているが、なかなか集まらないのが現状。可能なら、情報共有シートの「4. 入院前の受診・受療状況」の部分にかかりつけの歯科医師の項目を入れて欲しい。 ・施設⇄病院の入退院の際に、サマリーとして使用できるかといった意見があった。情報共有シートは、施設ケアマネと看護師が連携すると記入可能だと思うが、担当者によって必要な情報は異なる。初めからシートを全部埋めようと思うと負担感が強くなるので、「わかる範囲で」という条件をつける必要があると思う。 ・入院時に記入した情報共有シートを退院時に見比べることができれば、退院後 		

のサービスの内容等を検討しやすいと思う。

- ・情報共有シートを活用することが決定した場合は、ケアマネジャーの中で勉強会が必要だと感じた。また、利用者に説明する際に、高松市 HP の「待機者・空き情報」を活用する等、ケアマネジャーがいない場合の仕組みづくりが重要だと思う。「待機者・空き情報」のページについては、看取り可などもう少し情報を増やしていただくと更に参考になると思う。

質問 ケアマネジャーが不足していると言われるが、実際はどうか。

回答 地域等による偏りがあるだけで、不足している訳ではないと思う。

- ・訪問看護師のために作成している「訪看ネット」と連動して検討したいという意見があった。情報共有シートについては、誰がどの部分を担当するか、最初からシートを全て埋める必要はないなど、共通認識を図るためのマニュアルの作成が求められると感じた。
- ・今回作成したものは、状況の変化により新しいものに作り替えていく必要がある。ミーティングについては、メンバーが固定化してきているので、新しい参加者を募りつつ、入退院支援ルールをどう広めていくかも今後の課題だと思う。
- ・みんなの病院では情報共有シートのようなツールは利用していないので、完成すればどんどん活用したいという意見が聞かれた。MCS については、イメージが沸いていない職員も多いので、具体的に説明していく必要があると感じた。
- ・参加メンバーの固定は問題だと思う。また、今回薬剤師の方がたくさん参加されたのは有意義だったと思う。
- ・参加メンバーの固定化の件にも繋がるかもしれないが、本当に参加して欲しい地域連携室のある大きな医療機関の方から案内が来ていないと聞いたので、来てほしい医療機関や職種の人にダイレクトに連絡することも必要だと感じた。情報共有シートの情報量が多いとの意見もあったが、現在ケアマネジャーが使用している現行のものとそんなに変わらないのではないかと、必要なものを盛り込もうとすると情報量が増えるので、今くらいの量でも使い勝手は良いのではないかと意見が割と多かった。
- ・ミーティングは活発な意見が出て非常に有意義だったと思う。情報共有シートについては、入院～退院の間で皆の力で作りあげていくというスタイルが良いのではないかとと思う。数か所で使ってみて、評価をした上で広めていきたい。シートは電子カルテに組み込んでいくと便利だが、紙媒体のメリットもあると思う。
- ・情報共有シートは20分くらいで埋められるものにすると良いと思う。記入部分を色分けする等わかりやすくして欲しい。
- ・国の様式から項目が離れてしまうと、不都合が生じてくるので、そこは踏襲する必要がある。実際に使いながら改善していけば良いと思う。

○次回の開催日時について：土曜日の午後（アンケート結果より）

2 第2回医療介護連携ミーティングの開催について

目的：高松市入退院支援ルール（試案）の周知・試用開始準備

日時：令和元年10月5・12日、11月9・16日

開催場所：市役所又は穴吹リハビリテーションカレッジ

対象者：第1回医療介護連携ミーティングの参加者と同様

募集：1か月前に募集予定

※日時・場所は、会場の都合等を医師会に連絡し、来週中に調整予定。

3 高松市入退院支援ルール（案）について

- ・入退院支援の流れ（図）について、今までケアマネジャーがいる場合・いない場合に分けていたが、ほぼ同じ内容なので、一つにまとめた。
- ・入退院時の引継ぎルールの掲載内容（案）については別紙参照。
- ・MCSについて、県医師会でカナミック等他のツールとの比較検証が予定されている。高松市の導入については、しぼりではなく、推奨という、ゆるやかなスタンスでいきたい。
- ・FAXでの個人情報のやりとりについて、高松市としては可能か、規程はあるのか等検討してほしい。診療報酬上はOKである。

4 第6回退院支援・医療介護連携部会日程について

日時：9月19日（木） 19：00～20：00

場所：高松市医師会

内容：第2回医療介護連携ミーティングの内容検討